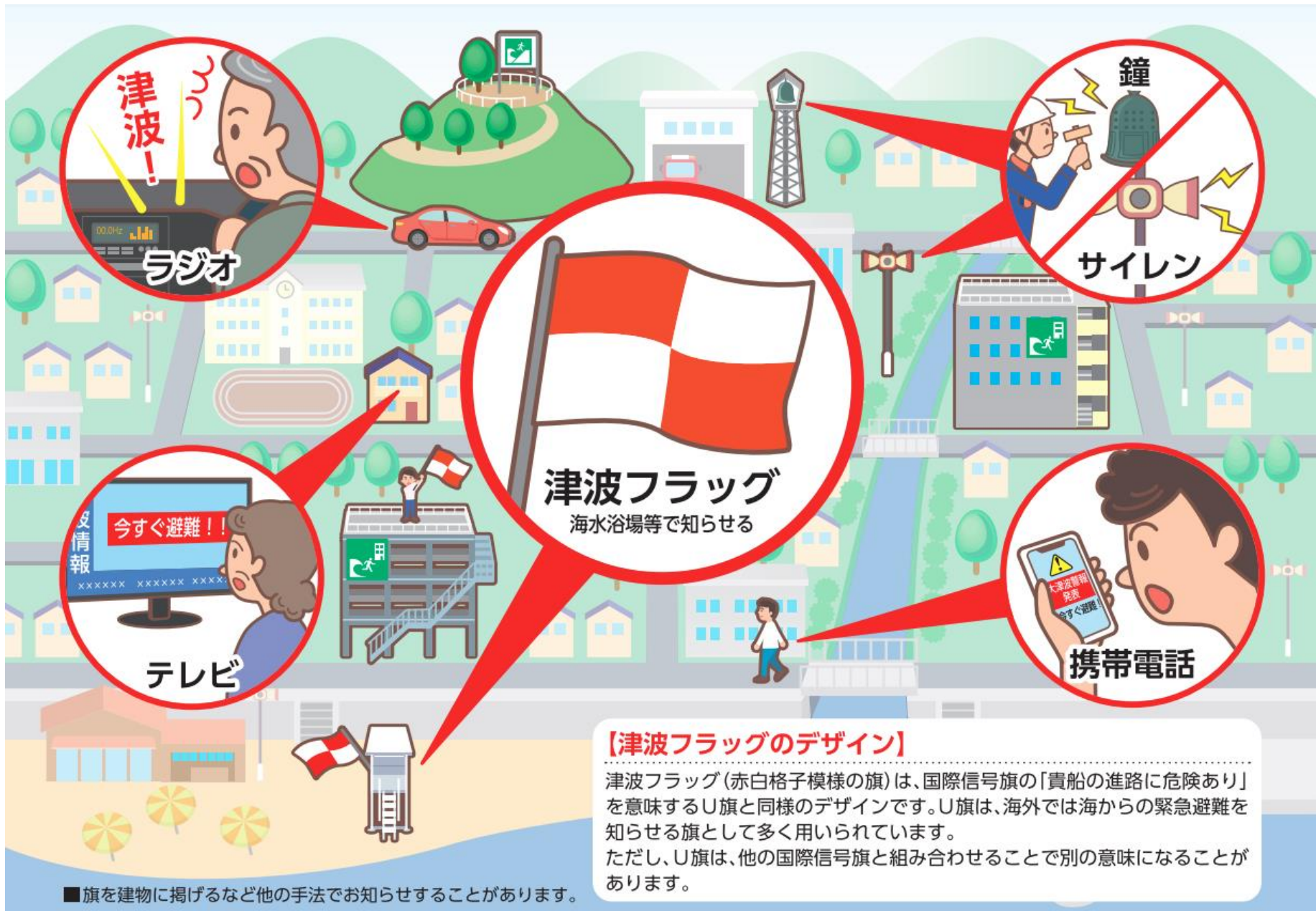


津波フラッグは避難の合図！

－ 津波警報を伝えるために－

札幌管区气象台 気象防災部
地震火山課 地震津波防災官
長谷川 洋平

津波警報・注意報は様々な手段で伝えます



【津波フラッグのデザイン】

津波フラッグ(赤白格子模様の旗)は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。U旗は、海外では海からの緊急避難を知らせる旗として多く用いられています。

ただし、U旗は、他の国際信号旗と組み合わせることで別の意味になることがあります。

■旗を建物に掲げるなど他の手法でお知らせすることがあります。

津波フラッグ

- 津波警報等※が発表されたことを知らせる標識として令和2年6月に制定
(※大津波警報、津波警報、津波注意報)
- 聴覚に障害をお持ちの方、
波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方
などにも、津波警報等をお知らせできる
- 長方形を四分割した赤と白の格子模様。
縦横の長さや比率に決まりは無いが、遠くからの視認性を考慮して短辺100cm以上を推奨
- 海岸にいるライフセーバー等が旗を振る、
海岸付近のビル等から垂らす、など



写真
公益財団法人 日本ライフセービング協会提供

公益財団法人
日本ライフセービング協会
JAPAN LIFESAVING ASSOCIATION
<https://jla-lifesaving.or.jp/>

気象庁
Japan Meteorological Agency
<https://www.jma.go.jp/>

津波フラッグ制定の経緯

- 背景：東日本大震災における聴覚障害者の死亡率は健常者の約2倍（※NHKの東北3県沿岸被災自治体への調査結果による）
- 「津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会」（令和元年度）旗の視認性、色覚の多様性や外国人への配慮の観点などから、赤白の格子模様※の旗を提案
（※国際信号旗のU旗「貴船の進路に危険あり」と同じデザイン）



津波警報等の視覚による伝達のあり方検討会
（令和元年10月～2年2月）



海水浴場で実施した旗の視認性の検証の様子

津波フラッグの普及に関する取り組み

• 広報用動画（YouTube公開）



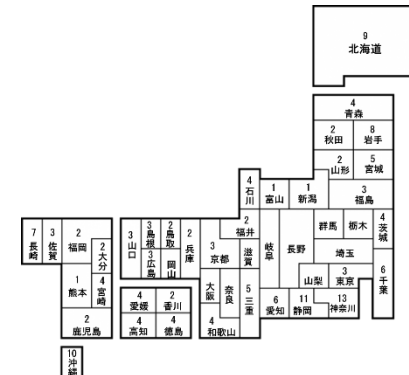
• 広報用ポスター、チラシ



• 津波防災オンライン連続講演会 「津波フラッグと津波から命を守るための基礎知識」



• 津波フラッグ導入市町村数調査



※海水浴場への導入済み市町村数（令和4年1月31日現在）

【参考】

【参考】平成5年（1993年）北海道南西沖地震

土砂災害



（札幌管区气象台「北海道の地震活動
（第3版）」より（北海道新聞社提供）

津波 火災



（阿部勝征氏（地震調査研究推進本部HPより））

【参考】北海道周辺の海域で発生した主な大地震

